

夜の横根ひらこ里山マップ

ヒメボタルの里へいらっしゃい

★ 春から初夏にかけての5月下旬～6月上旬。

日もとっぷり暮れた夜8時過ぎ～深夜にかけて、幻想的なヒメボタルが現れます。

★ ホタルと言えば「ゲンジ? ハイ?」

世界中には2000種ものホタルがいて日本にいるのは44種ほど。日本のホタルの中で水生(水の中で生きる)2種が、ご存知「ゲンジホタル」と「ハイホタル」。それ以外は陸生(陸上で生きる)で、「ヒメホタル」もその仲間です。



ヒメボタルはゲンジホタルよりも一回り小さいがね～。



★ 短く光るヒメボタルの一生

全体が黒色で前胸が淡赤色。オス・メス共に腹部後方に黄白色の発光器があります。

<p>飛ぶのがオス 体長9ミリ 目が大きい 後翅が発達</p>	<p>(オス) (メス)</p>	<p>メスは草の葉について光る 体長7ミリ 目は小さい 後翅が退化して飛べない</p>
---	------------------	---

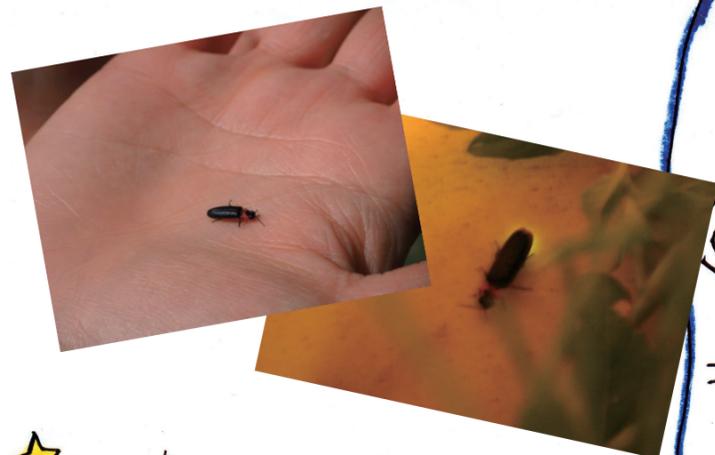
メスはお腹に40～90個の無精卵を持っていて全体的にぶらぶら。交尾して受精卵になると、翌日産卵しそれが終わると死にます。

★ ヒメボタルの育ち方

卵は一か月に幼虫になりエサとしてオカチウジガイやベッコウマイマイを、成虫になるまでに50匹ほど食べます。幼虫は4月上旬に土の中にもぐり、口から液を出し「土まゆ」をつくりその中で変態します。5月中旬の雨降りの翌日、雨水で柔らかくなった「土まゆ」を破って地上に出てきます。



オスで7日間、メスは2～3日の命しかありません。メスは子孫を残すためにだけ地上に現れ、思い切り発光し、その命を終えるのです。



★ 2015年5月13日～28日まで平子地区のヒメボタルを観察しました。竹林に最も多く193匹。実際には目視の5倍ほどの数がいると言われています。ヒメボタルは雨上がりの風のなれ日に多く見られることがわかりました。



幻想的で美しい光を放ってくれる「ヒメボタル」は準絶滅危惧種に指定されています。「ヒメボタル」は環境の良いところでは生息できませんし繁殖も難しいホタルです。「ヒメボタル」が生息できるこのすばらしい環境を子どもたちに残していきたいと思ひます。



このまちのこと、もっと知りたい方は…

問い合わせ先 鷹羽 0562-46-4380 http://yokonehirako.jimdo.com/
横根町平子 加納 0562-47-2595 横根平子のまちづくりを考える会